



外来生物の現状展は10月22日まで開催中！  
各種イベントへの参加もお待ちしています

# ASAHIYAMA ZOO

発行所  
動物資料展示館  
旭川市  
旭山動物園  
☎ 36-1104

## 参加型！ 外来生物展

- ①外来生物展ガイドツアー  
飼育展示係が動物を見せながら、外来生物について解説を行います。  
(動物資料展示館にて)
- ②アライグマとタヌキを学ぶ会  
飼育展示係が動物を見せながらその違いとアライグマの脅威について解説します。  
(小動物舎にて)

①・②の案内は、園内放送にて案内しています。

## 野草園復活プロジェクト 「みんなで外来植物を抜き取るう！」

10月8日(時間未定)  
塩田惇先生(旭川帰化植物研究会代表)と一緒に園内野草園で外来植物について学び、その後、それらを抜き取り、在来種を復活させます。

お問い合わせ先  
旭川市旭山動物園  
0166-36-1406

北海道の本来の自然  
私たちの手で守りましょう！  
皆さんの参加お待ちしております

え?!これも?  
よく見る植物が  
実は外来生物  
だったなんて...



外来動物・植物の展示もしています

# 北海道の 外来生物の現状展

「それとも...人間?」  
さて、ここで悪いのは誰だと思えますか? 外来生物? それとも...人間?



タヌキとアライグマを学ぶ会(小動物舎にて)

今年で5回目を迎えた外来動物展は、外来生物展にパワーアップしました。私たちの身近な自然について、植物も含めて野生動物を守っていく方法を、いろいろな切り口から考えます。

四つ葉のクローバーや、セイヨウタンポポ・カフトムシにアライグマ。これらはもと北海道にいなかった生き物で、人間が持ち込んだもの(外来生物)です。他の地域から今までそこにいなかった動物がやってくる、そこにすんでいた動物たちには、困ることが起きています。食べ物をとられ、すみかをうばわれたり。

## 旭川でも... 深刻な事態が

アライグマの能力は地元の動物たちにはとんでもないほどの脅威になります。でも、アライグマの方からしてみれば、生きるためにしたことには過ぎません。長い時間をかけてつくられた生態系(食う・食われるの関係)には、よそ者がはいってきたことで混乱がおきています。そんな中、もともとそこにいた動物たちが減り、ゆくのを見通すわけにはいきません。私たちが、未来に残していきたい自然はどんな自然でしょう? まずは、北海道の現状を知ってください。今こそ、私たちがやらなければならないことがあるのです。



アライグマの能力は地元の動物たちにはとんでもないほどの脅威になります。

守りたいものは、  
本来の自然

今年の6月に、旭川で初めてアライグマが捕獲されました。アライグマは、北アメリカにすむ、多彩な能力をもったすばらしい動物です。問題はそれらが北海道で野生化してしまふことにあります。

この写真の2頭、どっちがタヌキでどっちがアライグマかな? その違いはね、ここをみてごらん...



ガイドツアーの様子

先輩達の作品を私たちが、  
手にペンキとハケをもって...

東五条小の皆さん、ありがとうございました。そして東五条小の先輩のみならず、楽しみに看板に会いにきてくださいます。

旭山動物園に来たことのある人は一度はこの看板をみたことがあるでしょう。8月下旬、動物資料展示館前の看板のお化粧直しが行われました。

そもそもこの看板がここに現れたのは19年前のこと。「第1回彫刻の森」という彫刻大会で、東五条小学校の5・6年生が作ったものなのです。

最近放映されたテレビで、園内にあるその看板をみた卒業生が「色あせた看板をなんとかしたい」と、当時の校長先生に連絡したのが今回のきっかけになりました。

# 約20年ぶりの お化粧直し

この日参加してくださったのは、東五条小の有志のみならず、そして先生・父兄の方の総勢約30名の皆さんです。ハケを持って丁寧にゾウの色を塗り上げてくれました。新たに息を吹き返したゾウの看板は、今までもこれからずっと旭山動物園を見守ってくれていることでしょう。

新たに息を吹き返した看板と一緒に  
記念撮影



先輩たちへ  
とどけたい

19Fまえの  
東五条小の5・6年生です

当時、出版された78点の中で残っているのはこの看板だけ

